



神辺中だより

13

令和5年2月
神辺中学校長

SDGs について学習しました

2030年に向けて取り組むべき私たちの課題SDGsについて神辺商工会青年部の皆さんと本校1年生と一緒に学習しました。



SDGsとは、誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。私たちができることや今までにない発想をから「よりよい地元神辺」を創っていくために、カードを使って思いを伝え合いました。

例えば…

「トレードオフカード」には問題になる内容が書かれています

「簾塾や八条岩など、文化遺産・自然遺産の保護を意識しすぎたら、観光客が減り始めた」

(住み続けられる街づくりを)

この課題に対してどう対策するかを

「リソースカード」には「ゲーム、パソコン、花学校、料理」等のキーワードが書かれたカードが30数枚あり、それを1人3枚無作為に受け取ります。その3つのカードを駆使して、どうすればトレードオフカードに書かれた問題を解決でき

るかをひねり出し(?)その意見を交流するという活動を行いました。

その回答には「本当にできるんじゃない」と思わせる生徒の柔軟な発想に驚きました。

大人の私たちも一緒に行いましたが、すごく悩みました。

また、このカードセットを神辺商工会青年部の皆さんが「神辺バージョン」を作成し、本校へ22セット寄贈してくださいました。



ちなみに例題です

「耳が痛い」と泣いている子どもを病院に連れて行ったが、神辺町は耳鼻科の病院数が少なく、待ち時間に3時間かかった

(全ての人に健康と福祉を)

これに対し

「人工衛星・おもちゃ・温泉」

をキーワードに自分なりの解決方法を考えてみてください。※ルール 人の意見を否定しないこと

授業参観ありがとうございました

2月6日~8日の授業参観、アンケートにご協力頂きありがとうございました。授業の様子はいかがだったでしょうか。

◆アンケートより◆

- ・終鈴近くなると元気でした(3年生は)残りの学校生活を楽しんでください。
- ・寝ずに聞いていた。席を立つこともなかった。

・授業態度良くない

等、ご意見をいただきました。よりよい授業づくりと学び方について改善していきたいと思えます。

いじめSTOP週間で考えたこと

「本当のいじめという意味をみんなが理解する必要があると思った。」

「今回学んだことをこれで終わりにせず、クラスのなかでも周りのことを考えて発言したり、行動していくべきだなと思うので、もっと深くみんなで考えるべきだと思いました。」

「自分の言葉や行動に責任を持つ」



それがいじめでないのなら
いじめという言葉の意味はなんですか?

一度でも傷つけた心
もどらない



県新人大会

1月に県新人大会が行われ、本校からは3種目でも出場しました。

- 柔道 福島智志 丸吉彩人 堤 勇翔
- 卓球 白濱一樹
- 剣道 前原蒼志 惠木朝音 和田空人 前本大智

中条駅伝、ロードレース 復活

1月29日(日)3年ぶりに、中条駅伝が開催されました。

時折雪が舞う中、地元役員さんをはじめ中条地区の皆さんが事前準備や当日の運営、また、走路の交通整理、誘導などたくさんの方々にはささえられ、神中生徒も出場しました。



駅伝…13チーム



ロードレース…86人が出場しました。

タイムの違いはあっても全員が頑張り完走しました。

神中の生徒は…

1年が終わろうとしています。

今年もたくさんの方が来校され、多くの方とお話をさせていただく機会を頂きました。

生徒の印象をよく言われた内容は

「よく挨拶するようになった」

校内だけでなく、登下校中の生徒が「最近よく挨拶しますよ」と。

また、先日は地域の方から「あんなことができる生徒はすごい！」と学校と教委育委員会へ報告して下さった方がいらっしゃいました。

概要は、トラックからの落下物が交差点に散乱したのを見つけた、3人の男子生徒が、後続車に気

をつけながら片づけていたことに、大変感銘を受けられ、そのことを報告して下さったようです。一方で、

「自転車が道幅いっぱい危ない。どういう指導をしているのか」「注意を促す声を掛けたら文句を言い返された」

今年はこの類の苦情は多く、度々学校でも指導しているものです。

「ヘルメットをかぶっている生徒が増えた」という声も聴くのですが、まだまだのようです。

いずれも、「〇〇君が」とか「△△さんが」ではなく「神中の生徒が…」とひとくくりされることは、誰かわからないのですから当然のことだと思いますし、そういうものだとも思います。

だからというわけではありませんし、自分一人ではなかなか変えられるものではないかもしれませんが、評価のためではなく、たった1人でもよいことはする、いけないことは1人でもやめる、私自身も含めそんな人になって欲しいと感じています。

2022年度福山市善行児童生徒及び全国中学校体育大会出場顕彰式がありました。

本年度は15名の生徒が表彰され、そのうち、本校から喜田瑞貴さんが選ばれました。図書委員として2学期までは委員長として、図書館の運営や図書館発信のイベントなどいろいろな取組にチャレンジしてきたことに表彰されました。

★喜田さんのコメント

私はこの賞を受賞して今まで頑張ってきた努力が形になったように感じ、とても嬉しかったです。自分の頑張ってきたことは、誰かが見てくれて努力は必ず実るという事が分かったので、自分の行動を誇りに思い、これからも挑戦を続けていきたいと思いました。

3月8日 卒業式

いよいよ、3月8日は卒業式となりました。

今年181名の生徒が中学校の全課程を修了することになります。

この3年間は、入学まもなくの一斉休校、大会や行事の中止、活動の制限、入試改革等、様々な事が見直しされ、期待して入学してきたことには、思うようにならなかったと感じている生徒も多いと思います。しかし、今できることを先生方と生徒と一緒に考え、実践してきたことはきっと財産になると思っています。

人生80年の時代、ひょっとすると、子どもたちが社会人になった頃は90年に時代になっているかもしれません。まだまだこれから先、いろいろな困難や楽しいことがあると思います。これからの人生を「よりよく生きる」ために頑張りたいと思います。

3年諸君！
卒業 おめでとう！

